

幼児期の食行動に関する研究 (第1報)

—母親からの影響について—

笹 田 陽 子

I 目 的

幼児期は、心身共に著しい発達を示す時期であり、この時期に食習慣の基礎、基本的生活習慣が養われる。このことより、幼児の食行動に対する母親からの影響を明らかにし、よりよい幼児期を過す一助としたいと考え、本調査を行なった。

II 方 法

(1)対象及び回収率

本学附属三幼稚園（愛育，附属，松園），園児及びその母親，421名中265名，回収率62.9%。

(2)時期及び方法

昭和61年7月3日～7月16日の間に、アンケート調査用紙を各園の教諭を通し配布し、母親に留置記入を依頼した。

(3)調査項目

調査項目

(おかあさまへ)

質問1 あなたがふだん夕食の調理に要する時間はどれ位ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- (1) 15分未満
- (2) 15～30分未満
- (3) 30～45分未満
- (4) 45～60分未満
- (5) 60分以上

質問2 あなたは料理をつくるのが好きですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- (1) 非常に好きである
- (2) 好きである
- (3) 好きでも嫌いでもない
- (4) 嫌いである
- (5) その他 ()

質問3 次の献立名の中でふだんよくつくるものを3つまで選んで番号に○印をつけて下さい。

- | | |
|-------------------|-------------|
| (1) かつ井・玉子井 | (8) 中華丼 |
| (2) まぜごはん (五目ごはん) | (9) カレーライス |
| (3) 寿し (ちらし・にぎり) | (10) うどん |
| (4) お茶づけ | (11) 日本そば |
| (5) おにぎり | (12) ラーメン |
| (6) ピラフ | (13) 焼そば |
| (7) 炒飯 | (14) スパゲッティ |
| | (15) サンドイッチ |

質問4 次の一品料理名の中でふだんよくつくるものを10品まで選んで番号に○印をつけて下さい。

- | | |
|------------|--------------|
| (1) 焼肉 | (21) 春巻 |
| (2) 焼魚 | (22) 肉だんご |
| (3) 玉子焼 | (23) 煮魚 |
| (4) ハンバーグ | (24) おでん |
| (5) オムレツ | (25) 野菜煮物 |
| (6) 魚ムニエル | (26) 寄せなべ |
| (7) ぎょうざ | (27) すきやき |
| (8) ハムエッグ | (28) 湯豆腐 |
| (9) 野菜炒め | (29) ロールキャベツ |
| (10) ステーキ | (30) けんちん汁 |
| (11) 麻婆豆腐 | (31) 豚汁 |
| (12) 八宝菜 | (32) シチュー |
| (13) 酢豚 | (33) 茶わんむし |
| (14) 豚かつ | (34) しゅうまい |
| (15) 肉の空揚げ | (35) お浸し |
| (16) 天ぷら | (36) ごま和え |
| (17) エビフライ | (37) きんぴらごぼう |
| (18) カキフライ | (38) フレンチサラダ |
| (19) 魚フライ | (39) ポテトサラダ |
| (20) コロッケ | (40) さしみ |

質問5 あなたのふだんの食事量は同じ年頃の女の人と比べて多いと思いますか。少ないと思いますか。

1. 普通の人より多いと思う
2. 人並みだと思う
3. 普通の人より少ないと思う
4. わからない

質問6 あなたはふだんの食事で肉、卵、魚などを好んで食べますか。

1. 好んで毎日2回以上食べる
2. 毎日1回でいどは食べる
3. 毎日食べてないが週に3～4回は食べる
4. 好きでないのでほとんど食べない

- 質問7 あなたはふだん間食や夜食を食べますか。
 1. 毎日食べる
 2. 時々食べる
 3. ほとんど食べない
- 質問8 あなたはふだん欠食することがありますか（1日3食を基準としてお答え下さい）。
 1. ほとんど毎日1回は欠食する
 2. 週に2～3回欠食する
 3. ほとんど欠食しない
- 質問9 上の質問6で1または2に○をつけた人におたずねします。欠食理由は何ですか。
 1. 美容のため
 2. 習慣（1日2食主義なども含む）
 3. 多忙のため
 4. 病気予防や治療のため
 5. その他
- 質問10 献立を作る時には、次のうちどれを第1に考えますか。
 1. 家族の好みを第1に考える
 2. 経済を第1に考える
 3. 栄養を第1に考える
- 質問11 食事内容をよりよいものにしたいと努力していますか。
 1. いつも努力している
 2. 時々考えている
 3. ほとんど関心がない
- 質問12 朝、昼、夕の食事の時刻はほぼきちんと決まっていますか。
 1. きちんと決まっている
 2. 時々、時刻がずれる
 3. いつも乱れがちである
- 質問13 食事はお腹いっぱい食べますか。
 1. 満腹するまで食べる
 2. もう少し食べたいところでやめる
 3. 特に考えない
- 質問14 身体状況について
 1. 丈夫である
 2. 湿疹ができやすい
 3. 疲れやすい
 4. 体がだるい
 5. 頭痛がよくおこる
 6. カゼをひきやすい
 7. よく肩がこる
 8. よくノドが痛くなる
 9. 下痢をしやすい
 10. 便秘をしやすい
 11. 眠りが浅い
 12. イライラする
 13. ツメの色が悪い
 14. 口角炎をおこしやすい
 15. その他
 現在治療中など ()

(お 子 様)

- 質問1 お子様は、朝食を食べますか。
 1. 毎日食べる
 2. 時どき食べる
 3. 時どき食べない
 4. ほとんど食べない

- 質問2 お子様は、野菜を食べますか。
 1. 好んでよく食べる
 2. ふつう
 3. 進めると食べる
 4. あまりたべたがらない
 5. 好きな野菜だけ食べる
- 質問3 お子様の好きな野菜は？
 () () () ()
- 質問4 お子様の嫌いな野菜は？
 () () () ()
- 質問5 お子様は、野菜の料理法でどれを好みますか（○）、嫌いますか（×）
 ソテー つけ物 煮物 サラダ
 酢の物 和え物 お浸し その他
- 質問6 お子様の健康状態は？
 () 丈夫である
 () 疲れをよく訴える
 () 下痢をしやすい
 () 便秘をしやすい
 () 眠りが浅い
 () イライラする
 () 落ち着きがない
 () 食欲がない
 () 食欲にむらがある
 () 風邪を引きやすい
 () 湿疹がしやすい
 () その他

表1 母親の就労状況

仕事を持っている	48人	18.1%
持っていない	217	81.9
計	265	100

Ⅲ 結果及び考察

対象園児の母親の就労状況は表1のとおりとなり、8割以上が専業主婦であることがわかった。母親の夕食にかかる調理時間は表2のとおりとなり、約半数の母親は45～60分かけ、夕食を作っていることがわかった。また昭和56年度国民栄養調査（以下国民調査）では、30～45分、45～60分がほぼ同値（3割強）となり、対象園児の母親は夕食作りに時間を多く使っていることがわかった。料理作りに対しては、表3のとおりである。非常に好き14名5.3%、好き103名38.9%となった。また、国民調査では、2121名、37.7%であり、対象園児の母親は、料理好きで

表2 夕食にける調理時間

	本調査		S56年度国民栄養調査	
	一人	—%	64人	1.1%
15分未満	9	3.4	682	12.2
15～30分	68	25.7	1,812	32.3
30～45分	121	45.7	2,094	37.4
45～60分	67	25.2	951	17.0
60分以上				
計	265	100.0	5,603	100.0

表3 料理作りの好き嫌い

	本調査		S56年度国民栄養調査	
	人数	%	人数	%
非常に好き	14人	5.3%	229人	4.1%
好き	103	38.9	1,892	33.6
好きでも嫌いでもない	130	49.0	3,141	55.9
嫌いである	17	6.4	336	6.0
その他	1	0.4	22	0.4
計	265	100.0	5,620	100.0

表4 料理好き嫌いとの調理時間

時間 料理作り	15分未満	15～30分 未 満	30～45分 未 満	45～60分 未 満	60分以上	計
	非常に好き	0人	1人	0人	5人	8人
好き	0	4	25	40	34	103
好きでも嫌いでもない	0	3	35	69	23	130
嫌い	0	1	8	6	2	17
計	0	9	68	120	67	264

相関係数の計算 $S_u = 33468$
 $S_v = 44783$ $C_{uv} = -7710$ $r = 0.199$
 相関の有無の検査 自由度264 $|r| = 0.199$
 $r_{0.05} = 0.178$ $r_{0.01} = 0.232$
 5%の水準で母相関あり

あることが推察される。また、料理の好き嫌い
 と調理時間との関連を見てみると（表4）、
 5%水準で相関が認められた。このことより、
 料理好きな人ほど、調理に時間をかけているこ
 とがわかった。

表5 普段よく作る料理

料理名	本調査		S56年度国民栄養調査	
	人数	%	人数	%
カレーライス	174人	65.7%	3,822人	63.8%
おにぎり	91	34.3	877	14.6
混ぜごはん	89	33.6	1,881	31.4
炒飯	79	29.8	1,651	27.6
スパゲティ	72	27.2	1,023	17.1
焼そば	50	18.9	1,380	23.0
ラーメン	47	17.7	1,136	19.0
かつ丼、たまご丼	37	14.0	843	14.1
日本そば	36	13.6	373	6.2
寿司（ちらし、にぎり）	28	10.6	1,030	17.2
うどん	28	10.6	2,295	38.4
ピラフ	22	8.3	261	4.4
サンドイッチ	11	4.2	516	8.6
中華丼	8	3.0	110	1.8
お茶づけ	1	0.4	412	6.9
計	773	291.9	17,613	294.1

普段よく作る料理は表5のとおりである。カ
 レーライス、おにぎり、混ぜごはん、炒飯、ス
 パゲティの順となった。また、国民調査では、
 カレーライス、うどん、混ぜごはん、炒飯とな
 り、カレーライス、混ぜごはんは、高い頻度で
 作られていることがわかった。よく作る一品料
 理は表6のとおりである。焼魚、焼肉、野菜煮
 物、お浸し、玉子焼、野菜炒め、天プラの順と
 なった。国民調査では、焼魚、野菜炒め、天プ
 ラ、玉子焼、焼肉、野菜の煮物の順となり、対
 象園児の母親は、焼魚（86.8%）、が国民調査
 （66.2%）を大きく上回り、また、お浸しにつ
 いても（対象母親52.1%、国民調査39.9%）同
 様の結果となった。母親の食事量は、表7のと
 おりである。多い45名17.0%、人並み193名
 72.8%、少ない18名6.8%となり、これを、昭
 和60年度国民栄養調査、食事感、女（多い
 20.2%、人並み 63.2%、少ない 16.6%）と
 比較してみると、人並みと考えている人の多い
 ことがわかった。

表6 よく作る一品料理

料理名	本調査		S56年度国民栄養調査	
	人数	割合	人数	割合
焼魚	230人	86.8%	3,966人	66.2%
焼肉	167	63.0	3,242	54.1
野菜煮物	143	54.0	3,230	53.9
お浸し	138	52.1	2,388	39.9
玉子焼	127	47.9	3,255	54.3
野菜炒め	126	47.5	3,606	60.2
天ぷら	111	41.8	3,332	55.6
肉空揚げ	105	39.6	1,684	28.1
ハンバーグ	103	38.8	1,828	30.5
シチュー	96	36.2	1,644	27.5
煮魚	94	35.5	2,471	41.3
ポテトサラダ	89	33.4	1,544	25.8
トンカツ	88	33.2	1,288	21.5
きんぴらごぼう	88	33.2	1,464	24.4
さしみ	79	29.8	2,369	39.6
ぎょうざ	70	26.4	1,236	20.7
すき焼	69	26.0	1,845	30.8
おでん	68	25.7	2,192	36.6
フレンチサラダ	62	23.4	1,050	17.5
豚汁	53	20.0	1,263	21.1

料理名	本調査		S56年度国民栄養調査	
	人数	割合	人数	割合
コロッケ	49人	18.5%	636人	10.6%
茶わんむし	46	17.4	1,153	19.3
ハムエッグ	43	16.2	654	10.9
マーボー豆腐	42	15.8	621	10.4
ゴマ和え	42	15.8	1,454	24.3
エビフライ	40	15.1	770	12.9
オムレツ	39	14.7	872	14.6
八宝菜	34	12.8	685	11.4
湯豆腐	34	12.8	1,590	26.5
けんちん汁	28	10.6	781	13.0
酢豚	28	10.6	404	6.7
魚フライ	24	9.1	628	10.5
肉団子	19	7.2	207	3.5
寄せなべ	15	5.7	1,278	21.3
ロールキャベツ	14	5.3	438	7.3
魚ムニエル	13	4.9	275	4.6
ステーキ	11	4.2	335	5.6
春巻	11	4.2	117	2.0
しゅうまい	7	2.6	157	2.6
カキフライ	5	1.9	296	4.9
計	2,650	969.9	58,240	972.5

表7 食事の量

普通より多い	45人	17.0%
人並み	193	72.8
普通より少ない	18	6.8
わからない	9	3.4
計	265	100.0

表8 肉・魚・卵を食べる回数

毎日2回	39人	14.7%
〃 1回	184	69.4
週3~4回	42	15.9
好きでない、ほとんど食べない	0	0.0
計	265	100.0

表9 間食・夜食

毎日食べる	60人	22.6%
時々	146	55.1
ほとんど食べない	59	22.3
計	265	100.0

表10-1 欠食状況

毎日1回	7人	2.6%
週2~3回	19	7.2
ほとんど欠食なし	239	90.2
計	265	100.0

表10-2 欠食理由

美容	2人	7.7%
習慣	6	23.1
多忙	10	38.4
病气予防	0	0
その他	8	30.8
計	26	100.0

肉・魚・卵を食べる回数は表8のとおりである。毎日食べる者は223名84.1%となり、これは昭和60年度国民栄養調査89.4%とほぼ同値となった。間食、夜食については、表9のとおりである。毎日、60名22.6%、時々146名55.1%となり、ほとんど食べていない者も59名22.3%いることがわかった。欠食状況については、表10のとおりである。表10-1より、欠食なし、239名90.2%となり、ほとんどの者に欠食のないことがわかった。しかし、7名2.6%の者は、必ず1日1回欠食していることがわかった。欠食の理由(表10-2)は、多忙(10名38.4%)が多く不明の者も8名30.8%現われた。

表11 献立作成のポイント

家族の好み	113人	42.7%
経済第一	34	12.8
栄養第一	118	44.5
計	265	100.0

表15 朝食の喫食状況（子供）

毎日食べる	249人	94.0%
時々食べる	3	1.1
くたべない	13	4.9
ほとんどたべない	0	0
計	265	100.0

表12 食事内容への努力

努力している	105人	39.6%
時々考える	157	59.3
関心なし	3	1.1
計	265	100.0

表16 野菜の好き嫌い

好んでよく食べる	43人	16.2%
ふつう	99	37.4
進めると食べる	60	22.6
あまり食べたがらない	46	17.4
好きな野菜だけ食べる	17	6.4
計	265	100.0

表13 食事の時刻

決まっている	141人	53.2%
時々ずれる	120	45.3
いつも乱れる	4	1.5
計	265	100.0

表14 食分量

満腹するまで	67人	25.3%
もう少し食べたい所で	107	40.4
特に考えていない	91	34.3
計	265	100.0

献立のたて方は表11の通りとなる。栄養第一（118名44.5%）、家族の好み（113名42.7%）がほぼ同数となった。食事内容（表12）に対して努力している者は、105名39.6%となり、時々考える者は157名59.3%となった。食事時刻については表13の通りとなる。決っている者141名53.2%、時々ずれる者120名45.3%となった。食事の量については、表14の通りとなる。腹八分目が1番多く107名40.4%となった。また、特に考えていない者も91名34.3%いることがわかった。

次に子供の朝食状況について見てみると（表15）、毎日食べる249名94.0%となり、母親の欠食状況（表10-1）と近似していることがわかった。子供の野菜に対する嗜好は、表16の通りとなる。好んで食べる者43名16.2%、あまり好まない者123名46.4%となり、約半数は、野菜嫌いであることがわかった。子供の好きな野菜は表17の通りとなり、きゅうり、人参、キャベツ、じゃがいも、トマトの順となった。また、1人平均3.4種類、好きな野菜のあることもわかった。また、嫌いな野菜は（表18）、ピーマン、ネギ、人参、ナスの順となり、1人平均2種類の嫌いな野菜のあることもわかった。

これより、考えていた以上に嫌いな野菜の少ないことがわかった。野菜の料理法別嗜好について見てみると、表19、図1の通りとなる。ソテイ（好き46.4%、嫌い23.0%）、つけもの（好き64.2%、嫌い17.7%）、煮物（好き69.8%、嫌い7.9%）、サラダ（好き59.6%、嫌い17.7%）、酢の物（好き26.8%、嫌い45.3%）、和え物（好き29.8%、嫌い40.8%）、お浸し（好き47.2%、嫌い26.8%）となり、好まれる料理法は、煮物、つけもの、サラダの順となり、嫌われる料理法は、酢の物、和え物、お浸しの順となった。身体状況については、表20の通りとなった。

表17 子供の好きな野菜

食品名	人数	割合
きゅうり	124人	46.8%
人参	111	41.9
キャベツ	94	35.5
じゃがいも	83	31.3
トマト	80	30.2
レタス	59	22.3
ほうれん草	59	22.3
大根	46	17.4
かぼちゃ	34	12.8
玉葱	28	10.6
ピーマン	27	10.2
さつまいも	23	8.7
ナス	19	7.2
もやし	13	4.9
アスパラ	10	3.8
セロリー	8	3.0
きのこ	7	2.6
サヤインゲン	6	2.3
ブロッコリー	6	2.3
ごぼう	6	2.3
たけのこ	5	1.9
その他	58	21.9
計	906	342.2

表18 子供の嫌いな野菜

食品名	人数	割合
ピーマン	134人	50.6%
ネギ	59	22.3
人参	36	13.6
ナス	32	12.5
玉ネギ	29	10.9
トマト	25	8.7
きゅうり	19	7.2
ほうれん草	19	6.8
キャベツ	17	6.4
きのこ	17	6.4
セロリ	14	5.3
レタス	13	4.9
サヤインゲン	10	3.8
春菊	10	3.8
ごぼう	8	3.0
パセリ	8	3.0
グリーンピース	4	1.5
白菜	4	1.5
ニラ	4	1.5
もやし	3	1.1
サヤエンドウ	2	0.8
その他	72	27.2
計	539	202.8

表19 野菜の料理法別嗜好 (子供)

料理法	好き		嫌い		その他	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ソテー	123人	46.4%	61人	23.0%	81人	30.6%
つけもの	170	64.2	47	17.7	48	18.1
煮物	185	69.8	21	7.9	59	23.3
サラダ	158	59.6	47	17.7	60	22.7
酢の物	71	26.8	120	45.3	74	27.9
和え物	79	29.8	108	40.8	78	29.4
お浸し	125	47.2	71	26.8	69	26.0
計	911	314.0	475	179.2	469	177.0

図1 野菜の料理法別嗜好

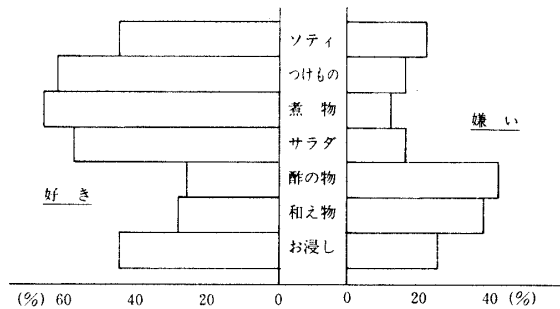


表20-1 身体状況（母親）

	人数	割合
丈夫である	157人	59.2%
よく肩がこる	61	23.0
疲れやすい	46	17.4
便秘をしやすい	31	11.7
頭痛がよくおこる	26	9.8
カゼをひきやすい	19	7.2
体がだるい	19	7.2
イライラする	18	6.8
下痢をしやすい	15	5.7
よくノドが痛くなる	10	3.8
眠りが浅い	10	3.8
口角炎をおこしやすい	7	2.6
湿疹がでやすい	5	1.9
ソメの色が悪い	1	0.4
その他	6	2.3
計	274	103.6

表21-1 料理好きのよく作る料理

食品名	人数	割合
カレーライス	72人	61.5%
まぜごはん	49	41.9
おにぎり	40	34.2
スパゲティ	38	32.5
炒飯	34	29.1
焼そば	23	19.7
日本そば	18	15.4
かつ丼・たまご丼	14	12.0
うどん	14	12.0
寿司（ちらし、にぎり）	13	11.1
ピラフ	10	8.5
ラーメン	8	6.8
サンドイッチ	4	3.4
中華丼	4	3.4
お茶づけ	0	0
計	341	291.5

表20-2 身体状況（子供）

	人数	割合
丈夫である	173人	65.3%
カゼを引きやすい	67	25.3
食欲にムラがある	62	23.4
落ち着きがない	30	11.3
湿疹がでやすい	29	10.9
便秘しやすい	14	5.3
疲れをよく訴える	6	2.3
食欲がない	4	1.5
下痢しやすい	3	1.1
イライラする	3	1.1
眠りが浅い	0	0
その他	0	0
計	218	81.7

表21-2 料理好きでない母親のよく作る料理

食品名	人数	割合
カレーライス	102人	69.4%
おにぎり	51	34.7
炒飯	45	30.6
まぜごはん	40	27.2
ラーメン	39	26.5
スパゲティ	33	22.4
焼そば	27	18.4
かつ丼・玉子丼	23	15.6
日本そば	17	11.6
寿司（ちらし、にぎり）	14	9.5
うどん	14	9.5
ピラフ	12	8.2
サンドイッチ	7	4.8
中華丼	4	2.7
お茶づけ	1	0.1
未記入（なし）	2	1.4
計	431	292.6

表20-3 自覚症状の個数

個数	人数	割合
0	131人	49.4%
1	74	27.9
2	41	15.5
3	13	4.9
4	6	2.3
計	265	100.0

表22-1 料理好きのよく作る一品料理

食品名	人数	割合
焼魚	104人	88.9%
野菜煮物	72	61.5
焼肉	69	59.0
お浸し	59	50.4
玉子焼	53	45.3
天プラ	47	40.2
煮魚	45	38.5
ハンバーグ	44	37.6
肉の空揚げ	43	36.8
野菜炒め	43	36.8
豚かつ	41	35.0
シチュー	41	35.0
さしみ	39	33.3
きんぴらごぼう	35	29.9
ポテトサラダ	35	29.9
フレンチサラダ	35	29.9
ぎょうざ	29	24.8
おでん	29	24.8
コロッケ	24	20.5
茶わんむし	23	19.7

母親は (表20-1), 丈夫である157名59.2%, よく肩がこる61名23.0%, 疲れやすい46名17.4%, 便秘しやすい31名11.7%, 頭痛がよくおこる26名9.8%となり, 次いで, カゼをひきやすい, 体がだるい, イライラする, 下痢をしやすいの順となった。また1人平均1.03種の自覚症状のあることもわかった。子供は (表20-2), 丈夫である173名65.3%, カゼをひきやすい68名25.7%, 食欲にムラがある62名23.4%, 落ち着きがない30名11.3%, 湿疹がしやすい29名10.9%となり, 次いで, 便秘しやすい, 疲れをよく訴える, 食欲がないの順となった。また, 1人平均0.83の自覚症状のあることもわかった。さらに, 自覚症状を1人当りの個数別に見てみると (表20-3), なしは131名49.4%, 1個74名27.9%, 2個41名15.5%, 3個13名4.9%, 4個6名2.3%となり, 丈夫である者173名中42名は何らかの自覚症状を有していることがわかった。

次に, 表5で示した普段よく作る料理を, 料理好き (表21-1), 料理好きではない母親

図2 普段よく作る料理(母親の料理好き嫌い別)

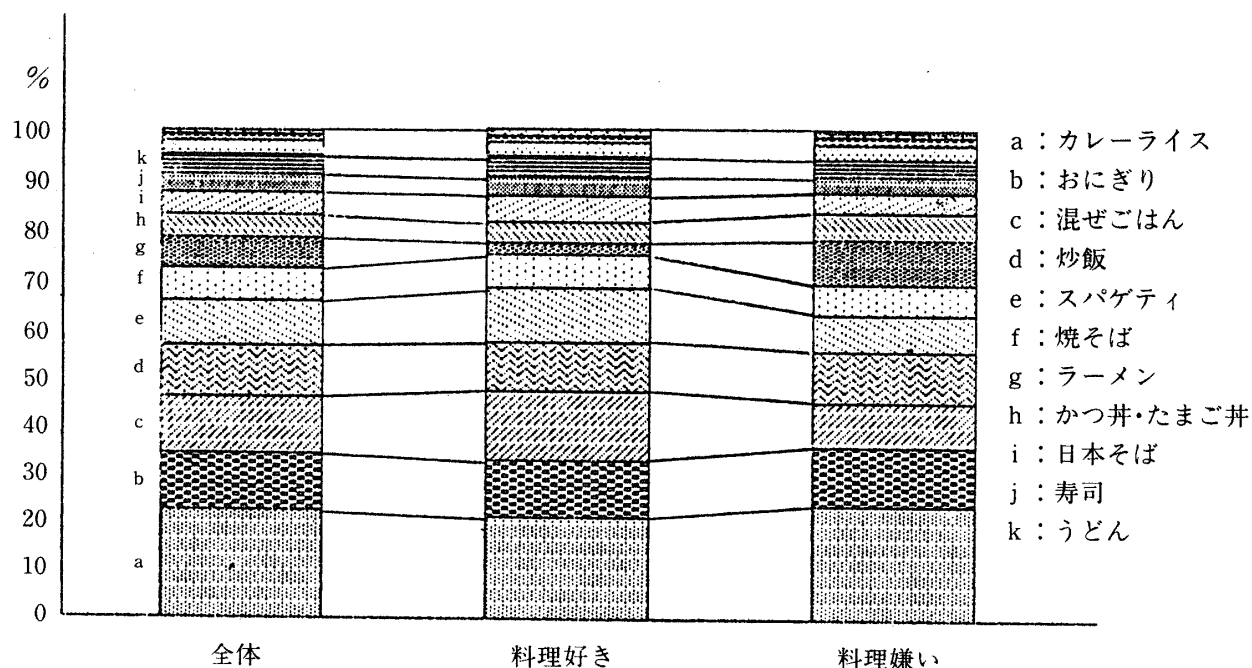
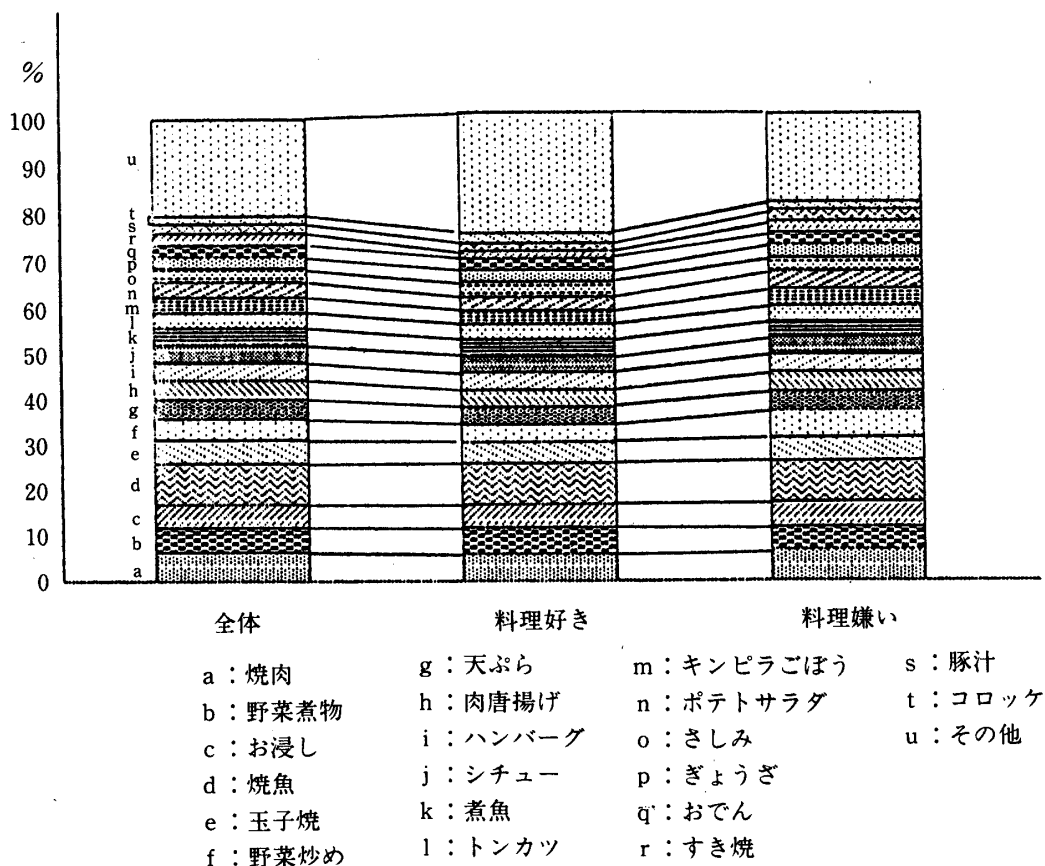


表22-2 料理好きでない母親のよく作る一品料理

食品名	人数	割合
ゴマあえ	23人	19.7%
すきやき	22	18.8
オムレツ	20	17.1
けんちん汁	19	16.3
豚汁	18	15.4
マーボー豆腐	17	14.5
エビフライ	16	13.7
湯豆腐	16	13.7
酢豚	15	12.8
魚フライ	15	12.8
ハムエッグ	12	10.3
八宝菜	11	9.4
魚ムニエル	9	7.7
肉だんご	8	6.8
ロールキャベツ	8	6.8
ステーキ	6	5.1
春巻	6	5.1
寄せなべ	6	5.1
しゅうまい	6	5.1
カキフライ	4	3.4
計	1167	997.4

食品名	人数	割合
焼魚	126人	85.7%
焼肉	98	66.7
野菜炒め	83	56.5
お浸し	78	53.1
王子焼	74	50.3
野菜煮物	71	48.3
天ぷら	64	43.5
肉の空揚げ	62	42.2
ハンバーグ	58	39.5
シチュー	55	37.4
ポテトサラダ	54	36.7
きんぴらごぼう	53	36.1
煮魚	49	33.3
豚かつ	47	32.0
ぎょうざ	41	27.9
さしみ	40	27.2
おでん	39	26.5
すきやき	39	26.5
豚汁	34	23.1
ハムエッグ	30	20.4
フレンチサラダ	26	17.7

図3 よく作る一品料理(母親の料理好き嫌い別)



食品名	人数	割合
コロッケ	25人	17.0%
エビフライ	24	16.3
マーボー豆腐	24	16.3
茶わんむし	23	15.6
八宝菜	22	15.0
オムレツ	19	12.9
ゴマ和え	19	12.9
湯豆腐	18	12.2
酢豚	13	8.8
肉だんご	11	7.5
魚フライ	9	6.1
寄せなべ	9	6.1
けんちん汁	9	6.1
ロールキャベツ	6	4.1
春巻	5	3.4
魚ムニエル	4	2.7
ステーキ	4	2.7
カキフライ	1	0.1
しゅうまい	1	0.1
計	1,467	996.5

(表21-2)に分けて見てみると(図2), いずれもカレーライスが一番多く現われ(好き72名61.5%, 嫌い102名69.4%), 中でも料理嫌いの母親に高い頻度で現われた。また, 混ぜごはん, スパゲティ, 日本そばは, 料理好きの母親に高い頻度で現われ, ラーメンは料理嫌いの母親に高い頻度で現われた。また, よく作る一品料理(表6)を, 料理好き(表22-1), 料理嫌い(表22-2)別に見てみると(図3), 料理嫌いの母親に, 焼肉, 野菜炒めが高い頻度で現われた。また, 料理好きの母親はその他の割合が高く, 色々な料理の作られていることがわかった。

子供の野菜の好き嫌いを(表17, 18)を, 野菜の好きな者(表23), 野菜嫌いな者(表24)別に見てみると(図4, 5), 子供の好きな野菜は図4の通りとなる。野菜好きの子供に, きゅうり, キャベツ, トマト, レタスの好む割合が高く, じゃがいも, ほうれん草, 大根を好む割合の低いことがわかった。また, 野菜嫌いな子供の好む野菜は, じゃがいも, ほうれん草,

表23 野菜好きの子供の好きな野菜, 嫌いな野菜

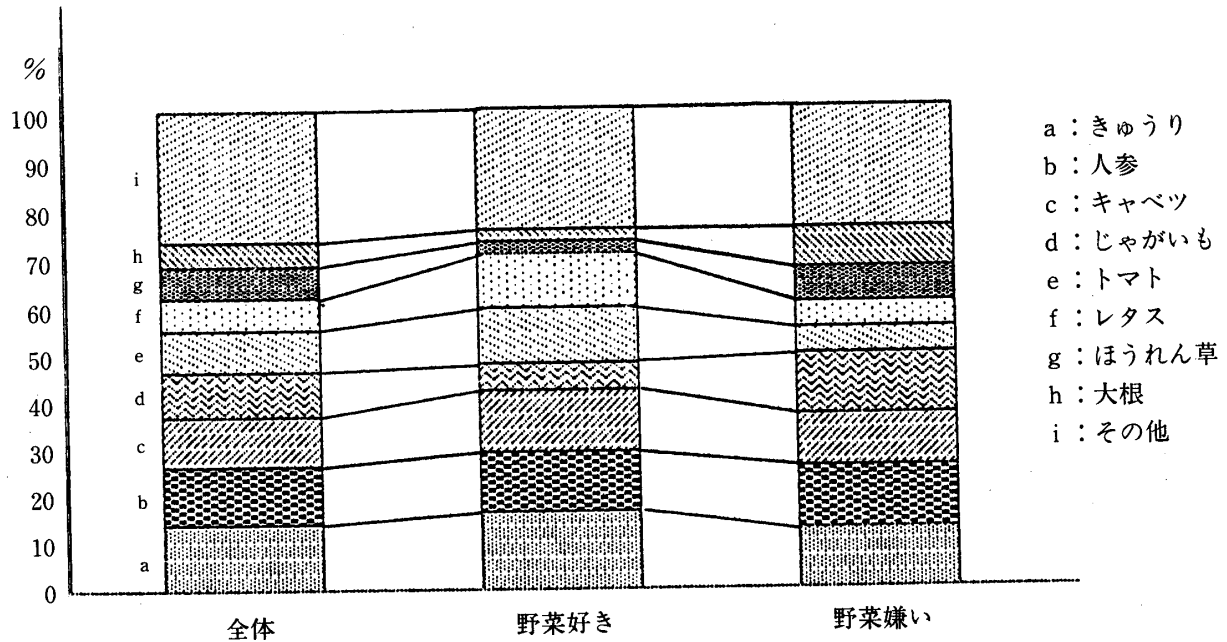
好きな野菜	人数	割合
きゅうり	26人	60.5%
キャベツ	21	48.8
人参	20	46.5
トマト	19	44.2
レタス	18	41.9
ピーマン	9	20.9
じゃがいも	9	20.9
玉ネギ	6	14.0
ほうれん草	4	9.3
大根	4	9.3
かぼちゃ	3	7.0
ナス	3	7.0
アスパラ	3	7.0
その他	17	39.5
計	162	376.8

嫌いな野菜	人数	割合
未記入(なし)	24人	55.8%
ピーマン	10	23.3
人参	4	9.3
玉ネギ	3	7.0
ナス	3	7.0
その他	17	39.5
計	61	141.9

表24 野菜嫌いの子供の好きな野菜, 嫌いな野菜

好きな野菜	人数	割合
人参	17人	37.0%
きゅうり	16	34.8
じゃがいも	16	34.8
キャベツ	14	30.4
大根	11	23.9
ほうれん草	9	19.6
レタス	7	15.2
トマト	7	15.2
もやし	4	8.7
玉ネギ	4	8.7
未記入(なし)	4	8.7
さつまいも	3	6.5
その他	18	39.1
計	130	282.6

図4 子供の好きな野菜(野菜好き嫌い別)



嫌いな野菜	人数	割合
ピーマン	32人	69.6%
ネギ	18	39.1
人参	12	26.1
玉ネギ	10	21.7
キャベツ	8	17.4
ほうれん草	8	17.4
きゅうり	8	17.4
トマト	7	15.2
レタス	7	15.2
ナス	5	10.9
しいたけ	4	8.7
全部	3	6.5
その他	9	19.6
計	131	284.8

大根となり、キャベツ、トマトの低いことがわかった。また、子供の嫌いな野菜は図5の通りとなる。野菜好きの子供は、全体と比較し、嫌いな野菜の少ないことがわかった。特に全体で2位、ほうれん草、キャベツ、きのこは数が少なく、その他の項目に入る程度であることもわかった。野菜嫌いな子供は、全体と比較し、ネギ、人参、玉ネギ、きゅうり、ほうれん草、キャベツ、きのこを嫌う割合の高いこともわかった。さらに、子供の好きな野菜、嫌いな野菜に

ついて、母親の料理好き（表25）、料理嫌い（表26）別に見てみると、図6より、料理好きの母親の子供の好む野菜は、全体と比較し、きゅうり、キャベツ、ジャガイモの割合が高く、料理嫌いの母親の子供の好む野菜は、全体と比較し、キャベツが少なく、ほうれん草、大根を好む割合（図7）を見てみると、料理好きの母親の子供も嫌う野菜は、トマト、きゅうりとなり、その他、種類の多いこともわかった。料理嫌いの母親の子供の嫌う野菜はネギの割合が高く、きゅうりの低いことがわかった。さらに、母親の料理好き嫌いの子供の野菜好き嫌いの相関を見てみると表27の通りとなる。相関係数 $r = 0.176$ となり、関連を認めることはできなかった。次に、子供の朝食の喫食状況と身体状況の自覚症状個数との相関を見てみると表18の通りとなる。相関係数 $r = 0.068$ となり、関連を認めることはできなかった。同じく自覚症状の個数を子供の野菜の好き嫌い別に見てみると、表29の通りとなる。相関係数 $r = 0.239$ となり、1%水準で関連を認めることができた。これより、野菜を好んで食べる子供ほど自覚症状が少なく、野菜を好まない子供に自覚症状の多く現われることがわかった。

表25 料理好きな母親の子供の好きな野菜, 嫌いな野菜

好きな野菜	人数	割合
きゅうり	59人	50.4%
人参	48	41.0
キャベツ	45	38.5
じゃがいも	40	34.2
トマト	34	29.1
レタス	27	23.1
ほうれん草	19	16.2
大根	19	16.2
玉ネギ	15	12.8
さつまいも	13	11.1
カボチャ	12	10.3
ピーマン	11	9.4
ナス	6	5.1
ブロッコリー	6	5.1
ごぼう	6	5.1
アスパラ	5	4.3
もやし	5	4.3
サヤインゲン	4	3.4
セロリ	3	2.6
たけのこ	3	2.6
長いも	3	2.6
その他	17	14.5
未記入 (なし)	4	3.4
計	404	345.3

嫌いな野菜	人数	割合
ピーマン	48人	41.0%
未記入 (なし)	23	19.7
トマト	14	12.0
人参	14	12.0
ネギ	14	12.0
ナス	10	8.5
きゅうり	10	8.5
サヤインゲン	7	6.0
セロリー	7	6.0
ほうれん草	6	5.1
レタス	6	5.1
春菊	5	4.3
きのこ	5	4.3
キャベツ	4	3.4
じゃがいも	4	3.4
ごぼう	3	2.6
パセリ	3	2.6
その他	24	20.5
計	222	189.8

図5 子供の嫌いな野菜(野菜好き嫌い別)

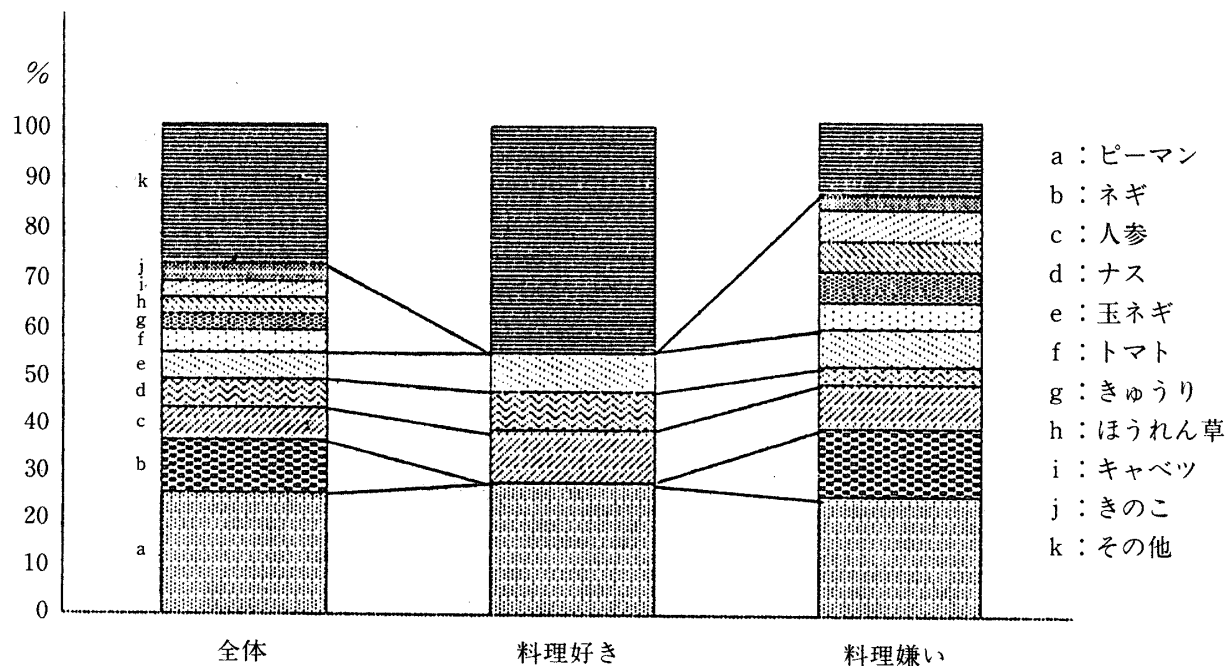


表26 料理好きでない母親の子供の好きな野菜、嫌いな野菜

好きな野菜	人数	割合
きゅうり	66人	44.9%
人参	63	42.9
キャベツ	49	33.3
トマト	46	31.3
じゃがいも	43	29.3
ほうれん草	40	27.2
レタス	32	21.8
大根	27	18.3
カボチャ	22	15.0
ピーマン	16	10.9
玉ネギ	13	8.8
ナス	12	8.2
さつまいも	10	6.8
もやし	8	5.4
きのこ	6	4.1
アスパラ	5	3.4
セロリ	5	3.4
未記入 (なし)	5	3.4
とうもろこし	4	2.7
枝豆	3	2.0
白菜	3	2.0
その他	24	16.3
計	502	341.4

嫌いな野菜	人数	割合
ピーマン	86人	58.5%
ネギ	45	30.6
人参	22	15.0
未記入 (なし)	22	15.0
ナス	20	13.6
玉ネギ	19	13.0
キャベツ	13	8.8
ほうれん草	13	8.8
きのこ	12	8.2
トマト	11	7.5
きゅうり	9	6.1
レタス	7	4.8
セロリ	7	4.8
パセリ	5	3.4
じゃがいも	5	3.4
春菊	5	3.4
ほとんどいや	5	3.4
白菜	4	2.7
グリーンピース	4	2.7
ごぼう	4	2.7
サヤインゲン	3	2.0
大根	3	2.0
ニラ	3	2.0
その他	13	8.8
計	362	231.2

図6 子供の好きな野菜(母親の料理好き嫌い別)

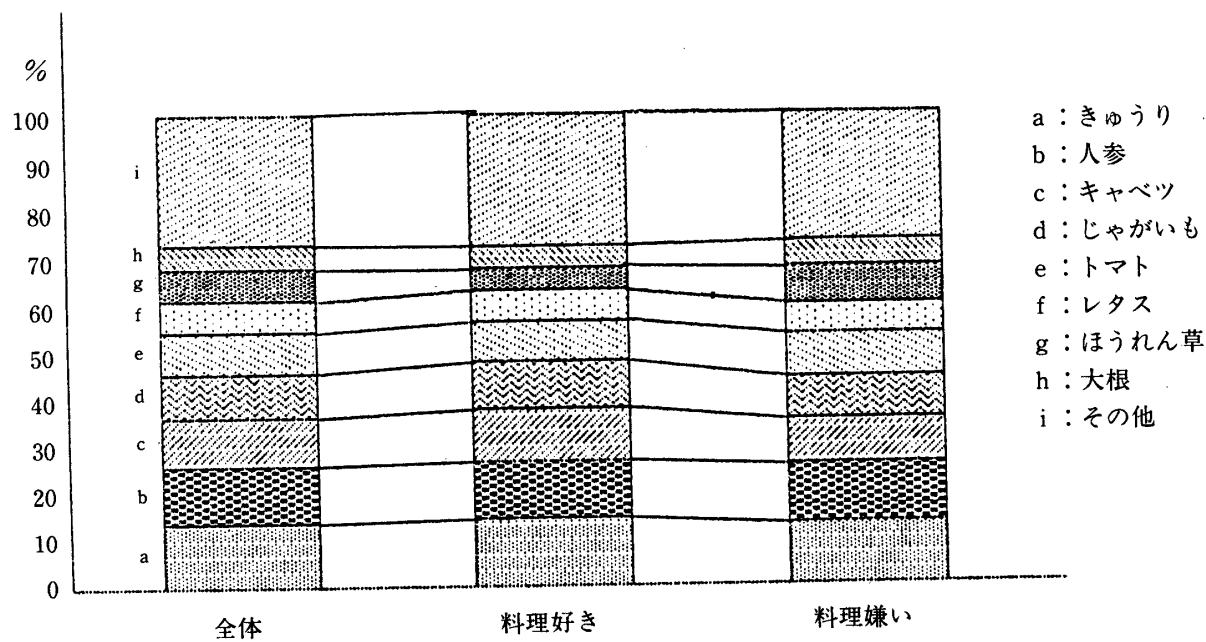


図7 子供の嫌いな野菜(母親の料理好き嫌い別)

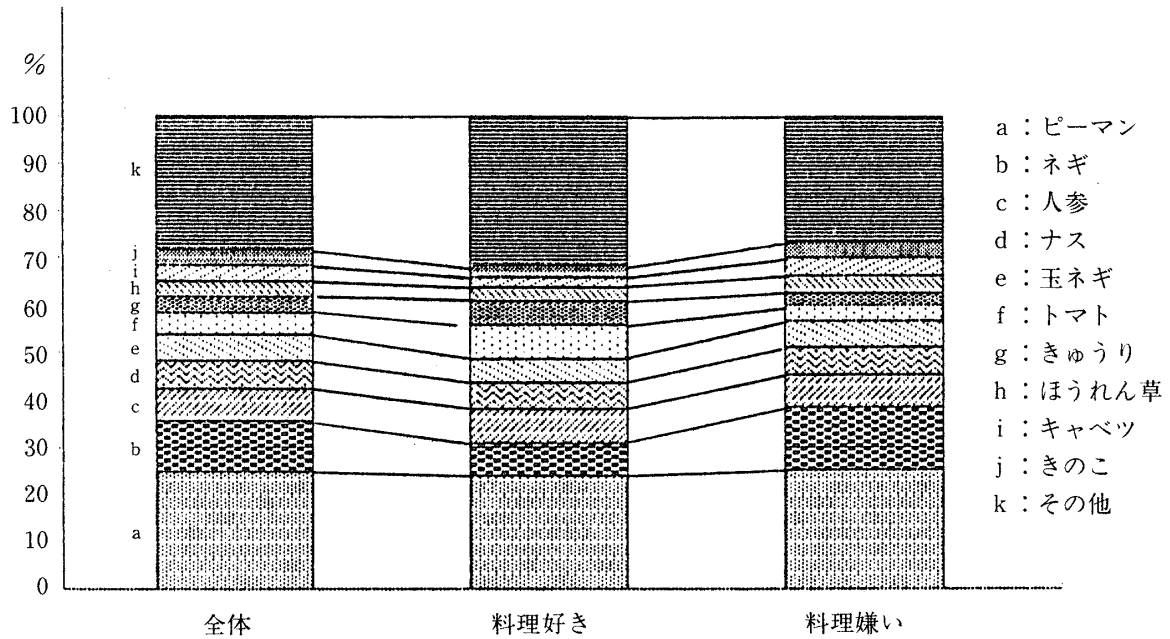


表27 料理の好き嫌いの子供の野菜好き嫌い

料理好き	野菜好き					計
	好んで たべる	ふつう	進めると たべる	あまり食べ たがらない	好きなき 野菜だけ	
非常に好き	5(2)人	7(5)人	1(3)人	1(2)人	0(1)人	14人
好き	20(17)	43(39)	21(23)	12(18)	7(7)	103
好きでも嫌いでもない	15(21)	43(49)	34(30)	29(23)	9(8)	130
嫌い	3(3)	5(6)	4(4)	4(3)	1(1)	17
その他	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1	
	43	99	60	46	17	265

相関係数の計算 $S_u = 35156$
 $S_v = 91000$
 $C_{uv} = 9970$
 $r = 0.176$ $t(r) = 2.904$
 相関の有無の検定 自由度265 $|r| = 0.176$
 $r_{0.05} = 0.178$ $r_{0.01} = 0.232$
 5%水準で母相関なし

表29 野菜の好き嫌いと自覚症状の個数

野菜	自覚症状					計
	0	1	2	3	4	
好んでたべる	23人	11人	6人	3人	0人	43人
ふつう	59	26	10	3	1	99
進めると食べる	33	17	6	2	2	60
あまり食べたがらない	10	19	12	2	3	46
好きな野菜だけ	6	1	7	3	0	17
	131	74	41	13	6	265

相関係数の計算 $S_u = 91000$
 $S_v = 71554$
 $S_{uv} = 19285$
 $r = 0.239$ $t(r) = 3.991$
 相関の有無の検定
 自由度265 $|r| = 0.239$
 $r_{0.05} = 0.178$ $r_{0.01} = 0.232$
 5%水準で母相関あり
 1%水準で母相関あり

表28 朝食の喫食状況と自覚症状の個数

朝食	自覚症状					計
	0	1	2	3	4	
毎日たべる	126人	67人	39人	12人	5人	249人
時々たべる	2	0	0	0	1	3
時々たべない	3	7	2	1	0	13
	131	74	41	13	6	265

相関係数の計算 $S_u = 13734$
 $S_v = 71554$
 $C_{uv} = 2129$
 $r = 0.068$ $C(r) = 1.104$
 相関の有無の検定
 自由度265 $|r| = 0.068$
 $r_{0.05} = 0.178$ $r_{0.01} = 0.232$
 5%水準で母相関なし

IV 要約

- (1) 調査対象園児の母親の8割は専業主婦である。
- (2) 対象園児の母親は料理好きで料理に時間をかけていることがわかった。また、料理好きほど料理時間の長いこともわかった。
- (3) よく作る料理はカレーライス、混ぜごはんが多く、一般家庭と比較し、焼魚、お浸しがよく作られていることがわかった。
- (4) 食事内容は栄養、嗜好を大切に努力し

ている者の多いことがわかったが、魚、肉、卵の摂取が少なく、動物性食品の不足が疑われた。

- (5) 食事時刻はほぼ半数の家庭で決まっているが、時々ずれる家庭も半数ほどあり、子供と他の家族との関連を知り、子供の食事への影響の程度を知りたいと考える。
- (6) 母親の欠食と子供の欠食の値が近似しており、関連について調査の必要があると考える。
- (7) 料理好きの母親は、混ぜごはん、スパゲティ、日本そばを多く作り、料理嫌いの母親はラーメンを多く作っていることがわかった。また、料理好きの母親は作る料理の多いこともわかった。
- (8) 野菜好きの好む野菜は、サラダの材料、野菜嫌いの好む野菜は、お浸し、煮物の材料となり、母親の作る料理との関連を深く知る必要を痛感した。
- (9) 料理好きの母親の子供は、きゅうり、キャベツ、じゃがいもを好み、嫌う野菜の種類が分散していることがわかった。
- (10) 料理嫌いの母親の子供は、ほうれん草、大根を好み、ネギを嫌うことがわかった。
- (11) 野菜の好き嫌いが、身体状況に影響を及ぼすことがわかった。

以上、今後、家庭で使われる野菜の頻度を明らかにし、子供の嗜好への影響を知りたいと考える。さらに、(11)で示した結果を重大と考え、幼稚園給食を通じ、野菜好きの子供になる手助けをしていきたいと考える。

- 5) 笹田陽子：幼児期の身体発育と幼稚園給食における栄養の改善について（第2報），生活学園短期大学紀要第6号 263-286, 1983
- 6) 笹田陽子：幼児期の身体発育と幼稚園給食における栄養の改善について（第3報），生活学園短期大学紀要第8号 67-78

V 参考文献

- 1) 淡中忠郎，石川栄助：新実用統計の手引，楨書店，1975
- 2) 石川栄助，石川明彦：栄養統計学綱要，榎書店，1984
- 3) 厚生省公衆衛生局栄養課編：昭和58年版国民栄養の現状
- 4) 厚生省保健医療局健康増進栄養課編：昭和62年版，国民栄養の現状